

皆さん、こんにちは！ 富山県立呉羽高等学校放送・演劇部です。

○富山県立呉羽高等学校を紹介します。

富山県の置県百年の年の昭和58年、県下で唯一の音楽コースを持つ高校として創設されました。1学年の人数は音楽コース30名を含む230名です。部活動にも特色があり、高校では珍しい管弦楽部や本格的なオペラに取り組む音楽部があります。

「心豊かに道を究む」の校訓のもと、知・徳・体の調和のとれた人格形成を目標としています。来年、創立40周年を迎えますが、これまでに、進取の気概をもった多くの卒業生を輩出しています。創校以来、生徒と保護者、先生方が力を合わせ、文化的薫りの高い創造性を育む学校づくりを進めてきました。

○放送・演劇部を紹介します。

放送・演劇部は、部員全員が放送と演劇の両方の活動に取り組み、両方の大会に参加しています。演劇の活動としては大会への参加の他、毎年3月に自主公演を行っています。放送の活動では大会に向けてのアナウンスや朗読の練習、番組制作のほか、学校紹介動画の作成を行っています。

演劇に取り組む私達のモットーは「観る人に楽しんでもらうこと」。2年連続で地区大会は無観客での開催だったため、一生懸命に笑いをとりに行って、笑い声が全くない中で演じきる経験を積みました。すでに全員が鋼のメンタルを装着済みです。中部大会でも「おもしろい！」と笑顔で言っていたために全力を注ぎます。

○上演作品「地上より永遠に」について

上演作品「地上より永遠に」(ここよりとわに、と読みます)は、30世紀の宇宙船が舞台です。未来の女の子「9」が皆さんに問いかけます。

「生きているってどんなこと？」

寝過ごした21世紀の男「かつお」との出会いを通して「9」が見つかる答えとは…。

私達なりに考えた「9」への答えを、観てくださる皆さんに伝えられるように、精一杯演じます。

